

平成29年度 公益財団法人日立地区産業支援センター

## 事業報告書

公益財団法人 日立地区産業支援センター

## 平成 29 年度 事業報告書及び附属明細書

日本銀行の地域経済報告（平成30年4月）によると、「関東甲信越地域の景気は、緩やかに拡大している。輸出は増加基調にあるほか、設備投資も増加している。個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、振れを伴いながらも、緩やかに増加している。一方、公共投資は増勢がやや鈍化している。住宅投資は弱めの動きとなっている。こうした中で、生産は増加基調にあり、労働需給は着実な引き締まりを続けている。この間、企業の業況感は改善している。」としています。

また、日本商工会議所の商工会議所LOBO（早期景気観測）調査結果（平成30年4月）では、「4月の全産業合計の業況DIは、▲11.5と、前月から+4.3ポイントの改善。深刻な人手不足や原材料費・燃料費の上昇、食料品・日用品に対する消費者の低価格志向を指摘する声は依然として多いものの、中小企業の景況感は、総じて緩やかな回復基調が続いている。」としています。

しかし、本地域では、地域の産業を牽引してきた大手企業の事業再編やグローバル化が加速するなど、地域中小企業を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いています。

こうした状況の中にあって、平成29年度は、日立市が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「日立市総合計画後期基本計画」に基づき、日立市の交付金事業を実施したほか、地域中核企業創出・支援事業（経済産業省）、ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業（中小企業団体中央会）、県北ものづくり産業活性化支援事業（茨城県）など、国・県等の補助事業や委託事業を活用し、人材育成を始め、競争力の強化、受注開拓、新製品新技術の開発、創業支援など幅広く支援事業に取り組み、多くの中小企業に参加いただくことができました。

地域の振興には、産業の活性化が不可欠であり、引き続き、企業の競争力や収益力の強化を目指し、経済環境の変化や、地域の特性、企業のニーズなどを踏まえた様々な産業支援策を効果的かつ効率的に展開するとともに、事業の実効性を高めてまいります。

※業況DI：DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

【新規】…平成 29 年度に新たに取り組んだ事業

【総合戦略】…日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
に示された事業

## I. 財団企画事業の計画、実施

### 1 人材育成に関する事業

#### (1) ものづくり基礎技術研修

##### ア 図面の見方研修

図面の役割、幾何公差、溶接記号等図面を見る上で必要な知識を習得する研修を実施し、個人及び企業のレベルアップを図った。

##### (ア) 研修内容

研修名	回数	受講者数	講師	内容
機械 図面の見方	3回	35名 (17社)	シニアコーディネーター 原 孝介	図面の種類、表示方法、記号の意味、読み方、注意点などの解説 実際の図面を使用して見方、読み方を指導
製缶・溶接 図面の見方	2回	15名 (8社)	中小企業実務アドバイザー 綿引 邦彦 氏	
電気 図面の見方	1回	5名 (5社)	中小企業実務アドバイザー 関山 喜郎 氏	

※いずれの研修も1日4時間で3日間の研修

##### (イ) 事業の成果及び効果

アンケート結果では大半の方から「理解できた」との回答があった。講師はいずれも実務経験が豊富であり、経験談なども好評であった。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

#### イ 測定器取扱基礎研修

品質の維持及び向上のためには、正しい「評価」が不可欠であり、また、正しい「評価」を行うために、正しい「計測技術」が必要である。本研修は測定工具を扱う実務担当者に正しい測定技術を身に付けてもらうためのもので、実際にノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ハイトゲージなどの測定工具を使って品物を測定し、技術の習得を図った。

##### (ア) 対象者

測定技術を習得したい中小企業の実務担当者

##### (イ) 研修内容

- 測定器の種類、用途、注意点等についてテキストを使用し解説
- ノギス、マイクロメーターを1人1台使用し教材の測定物を実測
- ダイヤルゲージの使い方を学び、シリンダーゲージに取り付け実測
- ハイトゲージにて実測(各測定実測時は講師が巡回して指導)

- e 質疑応答(疑問点等全般に関する事項)
- (ウ) 受講者数、修了者数
  - a 受講者数 36名(19社)
  - b 修了者数 36名(修了基準：全時間出席かつ講師が修了と認めた者)
- (エ) 講師 財団登録実務アドバイザー 宮田 清美 氏、守田 博敏 氏
- (オ) 事業の成果及び効果
  - a 36名の受講者に対し、講師2名で各受講者の席を回りながら測定方法を指導したことで理解度を高めることができた。
  - b アンケート結果では、「大変良く理解できた」と「良く理解できた」を合わせると75%、「ある程度理解できた」が25%であった。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

## ウ 導入機器操作技術個別指導

センターに導入されている各種機器の適正な利用を促すため、利用者に操作方法の個別指導などを実施した。

- (ア) 事業内容
  - 試験評価機器等の操作方法の指導・サポートを必要とする者を対象に、操作技術の個別指導を行った。
- (イ) 実施内容

試験評価機器の種類	回数
三次元測定機システム	11回
振動試験装置	14回
非接触表面粗さ測定機システム(輪郭形状測定含む。)	16回
万能試験機	18回
恒温恒湿器	9回
冷熱試験機	18回
CNC 画像測定機	3回
微小硬さ試験機	30回
マイクロフォーカスX線検査装置	9回
合計	128回

- (ウ) 事業の成果及び効果
  - a 利用者が評価及び測定する前に操作技術の個別指導を行ったことで、理解度を

高めることができた。

- b 個人のレベルに合わせた指導を受けることができるため、利用者からは非常に好評であった。

## (2) 機械加工基礎研修

品質の維持及び向上には、正しい機械操作を行い、良い品質のものを加工する必要がある。そのため、マシニングセンタを使用して間もない方、これから使用予定の方等の初心者を対象に、安全教育から基本操作、プログラミングの基礎といった基本的な内容を習得するための研修を実施した。

### ア 研修内容

(ア) マシニングセンタの概要

特徴、加工の種類、用途、切削工具とツーリングシステム

(イ) プログラミングの基礎

加工手順、切削条件、切削工具の決定、各種機能、指令方法、基本応用動作、固定サイクル、サブプログラム

(ウ) 加工実習を通じた機械操作の安全に関する注意点

加工工程、使用工具の選定、プログラムの作成・登録・編集、工具取付・芯出し・座標系設定、切削工具取付(交換) オフセット入力、プログラムチェック、不良(誤作)事例とその対策、自作品加工、プログラミング・加工・トラブルシューティング

### イ 受講者数及び修了者数

(ア) 受講者数 11名(9社)

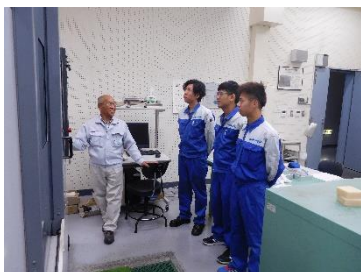
(イ) 修了者数 11名(修了基準：80%出席かつ講師が修了と認めた者)

### ウ 講師 財団登録実務アドバイザー 宮田 清美 氏

### エ 事業の成果及び効果

(ア) 講師の指導方法、テキスト等をわかりやすく工夫したことで、受講者からは非常に好評であった。

(イ) 実技主体の講座とし、受講者全員が機械操作を実習したことで、受講者の理解度を高めることができた。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

## (3) IT人材育成

社内管理体制の強化及び作業効率向上に必要なIT人材を育成するため、地域中小企業

の IT 専任者同士の情報共有ができる場を設け、各企業が抱えている課題を解決することを目的とした IT 勉強会を実施した。

#### ア 事業内容

##### (ア) 「課題解決型」勉強会

勉強会では各社が抱える課題を解決するため、グループディスカッションとコーディネーター(IT コーディネーター 大久保 賢二 氏)による助言等を行った。また、各企業が専門家派遣制度を活用し、課題解決に向けて訪問アドバイスを受けた。これにより、他社の課題と解決用法を参加企業で共有した。

##### (イ) 展示会見学会

- a 実施日 平成 29 年 5 月 12 日
- b 催事名 Japan IT Week 春 2017 (東京ビッグサイト)
- c 参加者数 6 名(4 社)
- d 内容

IoT の最新技術を紹介する専門展示会を見学し、今後の IoT の方向性や、中小製造業の生産性向上のための情報を収集した。

##### (ウ) 優良企業見学会

- a 実施日 平成 30 年 1 月 12 日
- b 視察先 光電子(株) (宮城県大崎市)
- c 参加者数 10 名(6 社)
- d 内容

ロボット革命イニシアティブ協議会により中堅・中小製造業の IoT 活用事例に選定された製造設備の稼働状況の見える化について、現場見学や担当者等との意見交換を行い、参加企業の IT 生産性を向上するための参考とした。

#### イ 参加企業数 7 社

#### ウ 事業の成果及び効果

参加企業からは、「社内の IT 課題の解決につながった」、「他企業の取組を知ることができ参考になった」等の意見があり、IT 勉強会に対する満足度は高く、参加企業のさらなる IT、IoT の活用が期待できる。



研修風景①



研修風景②



研修風景③

#### (4) 3D-CAD 操作技術研修

##### ア 部品・アッセンブリ

汎用性の高い 3 次元 CAD システムである SOLIDWORKS の作画の基本操作方法を実践的

に身に付けるための研修を開催した。

(ア) 受講者数及び実施内容

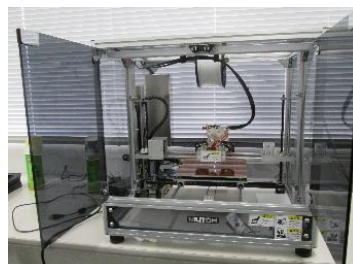
実施期間・講師	受講者数	内容
	修了者数	
平成 29 年 7 月 3 日～7 日  講師： 実務アドバイザー 岩崎 勇作 氏 萩庭 唯久 氏	6 名 (5 社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SOLIDWORKS の概要と特徴</li> <li>• SOLIDWORKS 基本操作習得 画面構成とメニューバー、ツールバー等の用語解説と操作、モデル課題(すべり軸受けの作成)</li> <li>• モデル課題(携帯電話)</li> </ul> [実習 1] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上カバーの基本形状、輪郭形状の作成</li> <li>• 上カバーの外装面、内装部の作成</li> <li>• モデル課題(携帯電話)</li> </ul> [実習 2] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 下カバー、バッテリー、アンテナの基本形状、輪郭形状の作成、アッセンブリの作成</li> <li>• モデル課題(ユニバーサルジョイント)</li> </ul>
	6 名 (5 社)	
平成 30 年 1 月 22 日～26 日  講師： 実務アドバイザー 萩庭 唯久 氏	1 名 (1 社)	[実習 3] <ul style="list-style-type: none"> <li>• アッセンブリ分解図の作成と操作</li> <li>• 2 次元図面の作成(断面図、詳細図、図面記号、表題欄等の入力操作)</li> <li>• SOLIDWORKS の基本操作まとめ</li> </ul> [実習 4] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 部品の作成(コイルバネ、ドライバー等)</li> <li>• 参考実習(3D プリンターを使った名札板作成)</li> </ul>
	1 名 (1 社)	

(イ) 事業の成果及び効果

今年度 1 回目は 6 名、2 回目は 1 名で実施した。事前に 2 回目の研修に参加させたいとの複数の企業の意向があったが、時期と研修期間が合わず、結果的に 1 名の参加となった。



研修風景



3D プリンター



造形物

**イ 板金・溶接**

汎用性の高い 3 次元 CAD システムである SOLIDWORKS の板金・溶接図面の作成方法を実践的に身につけるための研修を実施した。

(ア) 受講者数及び実施内容

実施期間・講師	受講者数	内容
平成 29 年 10 月 23 日～24 日  講師： (株)TEK 長谷山良典氏	5 名 (4 社)	SOLIDWORKS 板金講習 ・板金部品のモデリング ・板金のフォームツール ・追加の板金フィーチャー SOLIDWORKS 溶接講習 ・溶接の作成 ・鋼材のコーナ、フィレット ・溶接 ・溶接図面、カットリスト

(イ) 事業の成果及び効果

- a SOLIDWORKS は毎年新しいバージョンに更新されており、新しくなった機能や通常では分からない方法も解説して頂いた。受講者からの評価も高く継続したい。
- b 近年、Fusion360 という廉価であるが実用的な 3D-CAD の普及が進んでいる。企業のニーズが高いようであれば研修に取り込んでいきたい。

(5) 技能検定受検講座

技能検定の合格率を向上させるため、学科受検対策講座を実施した。

ア 研修内容

区分	内容
一般共通問題	択一問題の出題及び解説
過去問解説	平成 24 年度から 28 年度までの過去問の実践及び解説
関連規格等解説	労働安全、衛生規則など
質疑応答	疑問点や全般的な事項

※3 時間×5 日間/教科、平成 29 年 7 月 21 日～8 月 26 日延べ 5 日間実施

イ 講師 財団シニアコーディネーター 原 孝介

ウ 事業の成果及び効果

受講者 4 名 (4 社) 中 4 名が受検し、4 名全員が合格した。

科目	級	受講者数	受検者数	合格者数	合格率
普通旋盤	2 級	4 名	4 名	4 名	100%

(6) 日立製作所日立総合技術研修所公開講座共催事業

日立製作所の社内研修所である「日立総合技術研修所」が地域中小企業に対して公開開催しているカリキュラムの中から、中小企業が単独では習得する機会の少ない高度な技術研修や豊富な経験を有する講師陣による初心者にもわかりやすい基礎講座について、活用促進を図った。

ア 研修内容



講座名	研修期間	受講者数
実践的問題解決技法	3日間	1名
やる気を引き出すコミュニケーション	2日間	3名
ロボットを中心にしたシステム構築技術	5日間	1名
合計	—	5名

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 上期 21 講座、下期 18 講座が公開され、5 名(3 社)が 3 講座を受講した。  
(イ) 受講者からは、多くの技術を習得することができ、仕事に役立つと好評だった。

(7) 若手経営者等人材育成事業

地域中小企業の若手経営者及び後継者が中心となり、社会、経済及び産業構造の変化に対応できる実践力を醸成するため、自主運営及び課題研究解決型の人材育成事業である「ひたち立志塾」を実施した。

ア 実施期間 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月

イ 参加者 59 名(卒塾生：56 名、新規塾生：3 名)

ウ 塾頭 明星大学 経済学部 教授 関 満博 氏

エ 実施内容

- (ア) 総会 1 回  
(イ) 全体会 5 回

開催日	会場	内容
平成 29 年 6 月 3 日	ひたちなか商工会議所	平成 29 年度開塾式(関塾頭による講演)
7 月 15 日	日立地区産業支援センター	事業承継(先代と最後のお別れとなる葬儀の観点から) 講師 (有)いばそう企画 代表取締役 林 三弘 氏 (有)光和精機製作所 代表取締役 佐藤 貴之 氏
9 月 30 日	ひたちなか商工会議所	塾生同士によるブレインストーミング及びディスカッション
12 月 2 日	日立地区産業支援センター	ひたち立志塾を考えてみました
平成 30 年 3 月 31 日	日立シビックセンター	平成 29 年度成果発表会(関塾頭による講演、第 11 期生成果発表)

- (ウ) 運営委員会 12 回  
(エ) 交流会 5 回

開催日	場所	内容
10 月 27 日 ～28 日	岩手県北上市	全国若手ものづくりシンポジウム in きたかみ
12 月 25 日	さいたま市	関東経済産業局 大忘年会

平成 30 年 1 月 27 日	東京都墨田区	明日のすみだを拓く大交流会
2 月 10 日	ひたちなか市	塾生によるスポーツレク
3 月 3 日	東京都墨田区	フロンティアすみだ塾(第 14 期)閉講式
3 月 17 日	東京都八王子市	はちおうじ未来塾 第 11 期生修了式

(オ) 海外視察

- a 視察先 ミャンマー共和国 ヤンゴン市周辺
- b 期間 平成 29 年 10 月 18 日～22 日
- c 参加者 5 名

(カ) 新規塾生による活動

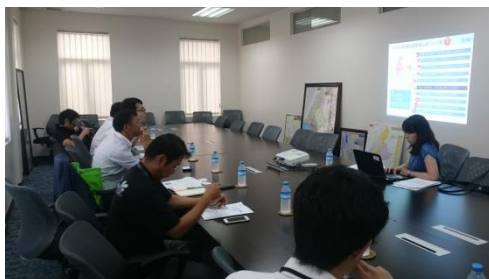
新規塾生自らがテーマを決め、活動を行った。

- a テーマ 「つなぐ」
- b 内容

新規塾生の課題(事業承継、他企業とのネットワーク構築など)について、塾生企業や他地域企業への訪問を通じて調査研究を行い、自社の取組に反映させる。

オ 事業の成果及び効果

- (ア) 新規塾生 3 名全員が 1 年間の活動を終了し、修了証書が授与された。
- (イ) 海外視察は、ジェトロ茨城の協力のもと、塾生が発案及び実施するなど、塾生による自主的な活動を行うことができた。



海外視察（ミャンマー）



関塾頭と新規塾生

**(8) 魅せる「ひたちらしさ」体感事業 【総合戦略】**

日立市の地域特性を活かしたプロモーションを行い、日立市に集積するものづくりを中心にした中小企業の技術力やサービスを体感する機会を提供し理解を深めてもらうことで、東京圏から本市への流れを創出し、中小企業の人材や受注の確保、更にはその活性化を図ることを目的とした、“魅せる「ひたちらしさ」体感事業”を実施した。

ア ひたちらしさの見える化とプロモーション

(ア) 魅せる「ひたちらしさ」体感事業への協力依頼

本事業への協力を依頼するため、市内に立地する企業を訪問し、協力を依頼した。  
協力企業：中小企業 26 社、日立製作所関連企業 1 社

- (イ) 東京圏大学への日立市プロモーション実施  
訪問先 : 13 キャンパス(都内 5 校、埼玉県内 4 校、千葉県内 4 校)、延べ 14 回
- (ウ) その他のプロモーション活動
- a チラシ制作と配布
    - (a) インターンシップ募集チラシ : 65 大学 81 キャンパス
    - (b) 企業見学ツアー募集チラシ : 102 大学 120 キャンパス
  - b いばキラ TV 等 SNS への日立市 PR 動画の掲載
  - c ホームページへ企画の公開と募集(インターンシップ、企業見学ツアー)
  - d 「いばらきけんぼく地域移住セミナー」にて企業見学ツアーの PR
  - e ものづくりのまちコマ大戦～日立市産業祭特別場所の開催
    - (a) 実施日 : 平成 29 年 11 月 11 日(土)
    - (b) 参加者 : 29 チーム

イ 体感事業の企画実施

イベント	内 容
ものづくり インターン シップの 企画実施	<p>① 実施期間 : 7/27～9/1</p> <p>② 参加者 : 5 名 (大学生、専門学校生等)</p> <p>③ 研修日数 : 各 5 日</p> <p>④ 研修先企業 : 4 社</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ティ・エス・ネットワークス(株)</li> <li>・(株)ジェイ・エス・ディー(2 名)</li> <li>・(株)三友製作所</li> <li>・(株)宮本製作所</li> </ul> <p>⑤ 研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3D CAD を利用した設計業務体験</li> <li>・データベースプログラムの作成</li> <li>・油圧ポンプ組立や旋盤加工補助 等</li> </ul>
企業見学ツアー の企画実施	<p>① 東京圏在住者の企業見学(オーダーメイド型日立市体感)ツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り : 3 回</li> <li>・1 泊 2 日 : 2 回</li> <li>・ツアー参加者計 : 43 名</li> <li>・見学企業 : 延べ 15 社</li> </ul> <p>② 東京圏発注予定者の市内企業訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問者 : 6 名</li> <li>・訪問先企業 : 5 社</li> </ul>
人材確保のための 相談会の実施 (交流フェア実施 等)	<p>① HITS 主催 日立市魅力体感フェアの実施 (平成 29 年 10 月 7 日、平成 30 年 2 月 12 日) 会場 : 移住・交流情報ガーデン (東京都中央区)</p> <p>② 関東経済産業局主催 UIJ ターン合同企業説明会への参加 (平成 29 年 10 月 5 日) 会場 : 池袋サンシャインシティ</p> <p>③ JOIN 移住交流&amp;地域おこしフェアへの参加(平成 30 年 1 月 21 日) 会場 : 東京ビッグサイト</p> <p>※上記イベントへの ブース来場者計 : 167 名(内相談者 58 名)</p>



報告会風景




工場見学風景



日立市魅力体感フェア風景

## ウ 受注確保への取組み

展示会等への 出展	<ul style="list-style-type: none"><li>① 「試作市場 2017」へ出展 (平成 29 年 4 月 27 日～4 月 28 日)<ul style="list-style-type: none"><li>・会場：大田区産業プラザ</li><li>・市内出展者：2 社</li></ul></li><li>② 「第 21 回機械要素技術展」へ出展(平成 29 年 6 月 21 日～6 月 23 日)<ul style="list-style-type: none"><li>・会場：東京ビッグサイト</li><li>・市内出展者：3 社</li></ul></li><li>③ 「第 2 回次世代火力発電 EXPO」へ出展 (平成 30 年 2 月 28 日～3 月 2 日)<ul style="list-style-type: none"><li>・会場：東京ビッグサイト</li><li>・市内出展者：6 社</li></ul></li><li>④ その他<ul style="list-style-type: none"><li>・「筑波銀行ビジネス交流商談会」へ出展(つくば国際会議場) (平成 29 年 10 月 17 日)</li><li>・「めぶき FG ものづくり企業フォーラム 2018」へ出展 (平成 30 年 2 月 20 日)</li></ul></li></ul>	
--------------	--	---

## エ 受発注コーディネーターによる東京圏の企業訪問

- (ア) 訪問企業数 49 社
- (イ) 受注額 7,579 千円(2 社 3 件)

## オ 受入れ先の準備支援

- (ア) 事業所見学受入体制整備事業補助金
  - a 対象期間：平成 29 年 5 月～平成 30 年 3 月
  - b 補助対象者：日立市内で製造業を営み、製造工程等が見学可能な事業所
  - c 対象経費：印刷費(説明用資料設備の印刷費等)、工事費(施設の改修・改装費等)
- (イ) 補助金交付概要  
交付企業数：7 社、交付総額：1,723,344 円

## カ 本事業に関するその他の業務

- (ア) 水戸経理専門学校/水戸電子専門学校企業説明会参加 平成 29 年 6 月 30 日
- (イ) 日立地区企業説明会面接会参加 平成 29 年 8 月 29 日  
主催：(株)ひたちなかテクノセンター、会場：日立シビックセンター
- (ウ) 第 13 回ふるさと回帰フェア 2017 視察 平成 29 年 9 月 10 日  
主催：ふるさと回帰センター、会場：東京国際フォーラム
- (エ) 大好きいばらき就職応援クラブと大学との交流会へ市内企業 1 社推薦  
平成 30 年 1 月 24 日 主催：茨城県、会場：茨城県県南生涯学習センター

## 2 競争力強化に関する事業

### (1) 実務アドバイザー派遣・出前研修事業

地域中小企業のものづくりから販売までの様々な課題解決をサポートするため、財団登録実務アドバイザー(専門家)を派遣した。

#### ア 実務アドバイザー派遣事業

- (ア) 派遣企業数 延べ 29 社
- (イ) 派遣日数 延べ 169 日

(ウ) 実施内容

本年度は ISO に関して 2015 年版への移行年となるため 12 社の利用、非破壊検査の実務経験指導として 7 社の利用があったことが特徴的であった。

アドバイザー派遣分類	実施内容	企業数
ISO 関係	ISO9001、14001 2015 年版への移行	12 社
生産改善	5S、生産管理体制など	4 社
販路拡大関係	ホームページ作成・展示会支援など	2 社
資格取得教育	非破壊検査実務指導など	7 社
技術教育	図面の見方、3D-CAD 操作、測定器取扱など	4 社

**イ 出前研修**

(ア) 派遣企業数 2 社

(イ) 派遣日数 10 日

(ウ) 実施内容

実施内容	企業数
アーク溶接	1 社
ボール盤技術指導	1 社

**ウ ミラサポ専門家派遣の活用**

国の専門家派遣制度を活用して、中小企業への専門家派遣のあっ旋を行った。

(ア) 派遣企業数 延べ 14 社

(イ) 派遣日数 延べ 36 日

**(2) 品質・環境関連講座事業**

**ア ISO 内部監査員養成事業**

国際認証 ISO 9001 取得後の品質管理システムの維持向上のため、認証を取得している中小企業を対象に、内部監査員の養成及びレベルアップのための研修を行った。

(ア) 受講者数及び実施内容

開催日	受講者数	内容
平成 29 年 4 月 17 日～20 日	16 名 (10 社)	・ 2015 年版で追加/強化された要求事項 ・ 内部監査の進め方 ・ 演習：不適合指摘、模擬内部監査 等

(イ) 講師 財団登録実務アドバイザー、QMS/EMS 主任審査員 藤田 功 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 受講者 16 名全員が内部監査員養成講座修了書発行基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たすことができた。
- b 2015 年版で追加又は強化された要求事項の解説とそれに関する内部監査ポイントの説明が分かり易かったこと、模擬内部監査など演習に重点を置いた実践的な講座であったこと等、高評価であった。
- c また、他社との交流が出来たことが良かった等の感想もあった。

## イ KES 自己評価員養成事業（隔年実施）

KES 環境マネジメントシステムのステップ 2 で要求されている自己評価員の養成講座を開催した。

### (ア) 受講者数及び実施内容

開催日	受講者数	内 容
平成 29 年 5 月 22 日～25 日	3 名 (2 社)	・自己評価実施方法、自己評価報告の書き方 ・評価ポイント検出演習 ・模擬自己評価 等

(イ) 講師 財団登録上級実務アドバイザー 品質マネジメントシステム管理技術者  
中西 一雄 氏

### (ロ) 事業の成果及び効果

- a 受講者 3 名全員が自己評価員養成講座修了書発行基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たすことができた。
- b 16 名の募集定員に対し 3 名の受講者(当初 4 名の応募があったが 1 名が仕事の都合でキャンセル)であったが、受講者にはきめ細かい指導が受けられたと、好評であった。

## ウ 非破壊検査技術者資格取得支援事業

取引先等に対する信用力及び品質管理能力の維持・向上を図るため、非破壊試験技術者資格のうち、浸透探傷試験 (PT レベル 1 及び 2、PD レベル 1 及び 2)、超音波探傷試験 (UT レベル 1 及び 2) 及び磁気探傷試験 (MT レベル 1 及び 2) の資格取得のための研修を支援した。

(ア) 受講者数 12 名(10 社)

(イ) 講習会場 (株)日立製作所日立事業所

(ロ) 受験者内訳(延べ数)

	非破壊検査		レベル 1			レベル 2		
			受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
平成 29 年 春期	浸透探傷試験	PT				4	3	75.0
		PD						
	超音波探傷試験	UT						
	磁気探傷試験	MT						
	計					4	3	75.0
平成 29 年 秋期	浸透探傷試験	PT	1	0	0.0	3	0	0.0
		PD	1	1	100.0			
	超音波探傷試験	UT						
	磁気探傷試験	MT	3	1	33.3			
	計		5	2	40.0	3	0	0.0
合計			5	2	40.0	7	3	42.9

(エ) 事業の成果及び効果

- a レベル 1 の受験者 5 名のうち 2 名が合格した。合格率 40.0%は全国合格率約 39.0%を上回った。
- b レベル 2 の受験者 7 名のうち 3 名が合格した。合格率 42.9%は全国合格率約 35.0%を上回った。

**エ 品質管理基礎講座**

取引先等に対する信用力及び品質維持管理能力の向上を図るため、不良再発防止講座を実施した。

(ア) 受講者数及び実施内容

開催日	受講者数	内 容
平成 30 年 2 月 5 日～8 日	12 名 (8 社)	・不良低減活動の進め方 ・不良原因を究明する手法 ・是正処置の進め方、是正処置演習 等

(イ) 講師 財団登録上級実務アドバイザー 品質マネジメントシステム管理技術者  
中西 一雄 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 受講者 12 名全員が修了基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たすことができた。
- b 演習に重点を置いた講座内容、分かり易いテキスト、参考資料が高評価であった。

**オ 統計的品質管理入門講座【新規】**

新規講座として、品質管理の関係者を対象に「QC 七つ道具」をベースにした統計的品質管理の初歩的手法を学ぶ講座を開催した。

(ア) 受講者数及び実施内容

開催日	受講者数	内 容
平成 29 年 12 月 4 日～7 日	11 名 (10 社)	・データのとり方、まとめ方 ・母集団とサンプリング、グラフの種類と適用 ・正規分布、管理図、工程能力指数 等

(イ) 講師 財団上級実務アドバイザー 松本 宏 氏

(ウ) 事業の成果及び効果

- a 受講者 11 名全員が修了基準(理解度確認テスト 70 点以上かつ出席時間 3/4 以上)を満たすことができた。
- b 講座の評価として全体としては良好であったが、時間配分や演習のやり方について、次回に向けた改善点が明確になった。

**(3) 地域中核企業創出・支援事業【新規】**

関東経済産業局の委託により、平成 29 年度地域中核企業創出・支援事業を実施した。地域のものづくり企業からなる異業種連携の共同受注体「GLIT(グリット)」による、

海外医療機器市場をターゲットとする販路開拓の取組を支援することにより、地域を牽引するグローバルニッチトップ企業の育成を目指した。

ア 事業期間 平成 29 年 6 月～平成 30 年 3 月

イ 実施体制

(ア) プロジェクトマネージャー((株)海外進出支援サービス 代表取締役 大迫隆政氏)によるハンズオン支援

(イ) 参加企業数 GLIT 企業 10 社

(ウ) 協力者 いばらき成長産業振興協議会

ウ 事業内容

(ア) 共同受注体の機能強化

各企業が有する強みを把握・整理するとともに、企業間連携体制の強化のため国内有力企業への訪問を行い、ネットワークを構築した。

(イ) 事業計画及び戦略の策定

プロジェクトマネージャーによる各企業の分析に基づき、共同受注体としての販売戦略を策定した。

(ウ) 戦略に基づいた販路開拓

a ドイツデュッセルドルフ医療機器技術・部品展示会 COMPAMED2017 出展

・平成 29 年 11 月 13 日～16 日 参加企業 5 社

・低侵襲性術具のサンプルを展示

・productronika 展示会(ミュンヘン)視察、欧州市場関連セミナー実施

b ミネソタ商談ミッション(北米)

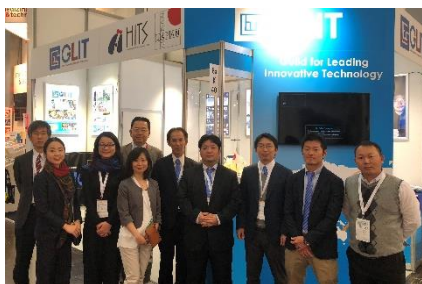
・平成 29 年 12 月 3 日～7 日 参加企業 4 社

・訪問先：ミネソタ州政府 貿易局外

エ 事業の成果及び効果

(ア) COMPAMED の出展を通じて 34 件の商談を行い、現在も継続的なフォローを行っている。また、ミネソタ商談ミッションでは現地医療機器メーカーから 2 件の見積依頼を獲得した。

(イ) 欧州地域、北米地域市場におけるキーパーソンや関連機関とのネットワークを形成することで今後の販路開拓の基盤を構築することが出来た。



COMPAMED2017 出展



ミネソタ州政府 貿易局訪問



#### (4) 県北ものづくり産業活性化支援事業【新規】

茨城県の委託により、県北地域のものづくり産業活性化を図るため、中小企業の販路開拓や生産性向上の支援を行った。

##### ア 中小企業の販路開拓支援

###### (ア) 共同受注体への活動支援

共同受注体等に対する販路拡大等の活動に係る経費に対し、助成を行った。

a 補助事業者 GLIT

b 補助確定額 500,000 円

c 補助事業内容 第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会の企業展示への出展(9月15日～16日 幕張メッセ)

###### (イ) 受注連携研究会の開催

中小企業の連携及び連携グループの受注獲得に向けた取組を支援した。

###### a 次世代火力発電 EXPO への共同出展を通しての受注連携の可能性を研究(9社)

期日	内容
平成29年 11月9日	受注連携に向けた講演会「新たに販路を切り開くために何をすべきか」 講師 経営支援NPOクラブ 理事 吉田 仁 氏
11月22日	次世代火力発電 EXPO 出展戦略について
平成30年 2月22日	次世代火力発電 EXPO 等での商談について 講師 経営支援NPOクラブ 西村 啓 氏 展示会でのアピール方法について 講師 LLC ジョイシシステムサポート 代表社員 矢部 悦子 氏
2月28日 ～3月2日	次世代火力発電 EXPO 出展 (東京ビッグサイト)

###### b グループの強みの分析による顧客ターゲットの絞り込み、アプローチ、商談の一連の流れを通しての受注連携の可能性を研究(3社)

期日	内容
平成29年 9月12日	研究会の進め方について
9月28日	共同受注の対象製品、ターゲット及び指導を受ける専門家について
11月8日	次世代火力発電 EXPO への出展について
12月26日	ターゲット製品の共同受注について 講師 今久保 寿博 氏
平成30年 2月14日	ターゲット製品メーカー(神奈川県厚木市)の訪問調査・研究 講師 今久保 寿博 氏

## イ 生産性向上支援

### (ア) IoT 向上塾

現場改善事例セミナー等を開催するとともに、実務アドバイザーや IoT コンサルタントが各企業の製造現場を訪問し、改善等の提案・実地指導を行った。

#### a 現場改善事例セミナー等の開催

期日	内容
平成 29 年 9 月 19 日	IoT による製造現場の課題解決について 講師 アイ・コネクト 代表 大久保 賢二 氏
平成 30 年 1 月 12 日	光電子(株)の IoT を活用した設備稼働状況の把握による生産計画の経営改革事例 講師 光電子(株) 代表取締役 佐々木 秀 氏 (株)コー・ワークス 代表取締役 淡路 義和 氏
2 月 7 日	稼げる経営体質をつくる IT 活用術 講師 独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路開拓支援アドバイザー 森戸 裕一 氏
3 月 7 日	IoT 活用によりリードタイムを半減させた改善活動の製造現場視察 講師 (株)日立製作所 制御プラットフォーム統括本部 経営戦略本部技術部 部長 田村 光男 氏
3 月 13 日	DMG 森精機が取り組む IoT ソリューション 講師 DMG 森精機(株) ICT 本部 室長 中野 靖章 氏

#### b 専門家による実地指導(9 社 9 回)

#### c 現場改善に精通した専門家によるハンズオン支援(3 社 32 回)

#### d IoT 向上塾成果発表会

期日	会社名	発表テーマ
平成 30 年 3 月 13 日	(有)赤津製作所	5S の活性化によるボトムアップ
	(株)菊池精器製作所	自動機職場の段取改善
	(株)常陸スチールセンター	車両用 RM コアリードタイム短縮と仕掛品の削減

## 3 受注顧客開拓に関する事業

### (1) 首都圏受発注促進事業

受発注コーディネーターが首都圏及び日立地域の企業訪問により、発注案件を開拓し、地域中小企業に取引のあつ旋を行った。

#### ア 受注件数及び金額

項目	首都圏	日立地域	合計
受注件数	193 件	11 件	204 件
受注金額	234,800 千円	12,100 千円	246,900 千円

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 受注金額は、前年度の 97.6%で、若干の落ち込みが見られたものの、目標値(受注件数 150 件、受注金額 200,000 千円)を達成することができた。
- (イ) 全体的に作業量が微増しており、多忙のため新規受注を望まないケースも出てきた。

**(2) 東京サテライトオフィス運営事業【総合戦略】**

新規受注開拓及び販路開拓の積極的な事業展開をサポートするため、企業イメージアップ、首都圏での営業活動の効率化を図ろうとする中小企業を対象に、東京都千代田区に常設分割型専用ブースを設置し、営業拠点としての利用を図った。

ア 利用企業数 11 社

- (ア) 専用ブース及びロッカー利用 5 社
- (イ) ロッカーのみ利用 6 社

イ 事業の成果及び効果

- (ア) 目標達成率 110%(利用目標値 10 社)
- (イ) 引き合い件数 164 件(うち受注件数：96 件、受注金額：287,282 千円)

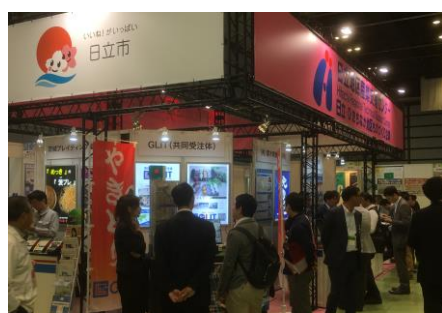
**(3) 専門展示会出展事業**

**ア 試作市場出展事業**

- (ア) 出展期間 平成 29 年 4 月 27 日～28 日
- (イ) 出展会場 大田区産業プラザ PiO (東京都大田区)
- (ウ) 事業内容
  - a 来場者数 2,799 名(1 日目：1,220 名、2 日目：1,579 名)
  - b 出展企業数 6 社

(エ) 事業の成果及び効果

- a 各出展ブースへの訪問者も多く、商談席を設けて受注活動を行ったため、多くの引き合いがあった。(新規受注：2 件、試作品提供：8 件、見積依頼：12 件、商談継続中：20 件)
- b 出展した企業のうち 2 社が特設会場において、企業紹介のプレゼンテーションを実施したことで、受注獲得につなげることができた。



展示ブースの様子



ワークショップ(企業紹介)の様子

## イ 機械要素技術展出展事業

- (ア) 出展期間 平成 29 年 6 月 21 日～23 日
- (イ) 出展会場 東京ビッグサイト東展示場 (東京都江東区)
- (ウ) 事業内容
  - a 来場者数 88,554 名(展示会全体の出展企業数 2,200 社)
  - b 出展企業 9 社

### (エ) 事業の成果及び効果

各出展ブースへの訪問者も多く、商談席を設けて受注活動を行ったため、多くの引き合いがあった。(新規引き合い:9 社 148 万円、見積依頼:28 件、商談継続中:19 件)



出展風景

## (4) 海外販路開拓支援事業

### ア 台湾製造業等展示会出展事業

中国及び ASEAN 諸国への自社製品の販路開拓及び資材調達等を支援するため、これまで台北の展示会に 4 年間出展してきたが、今回は金属加工メーカーが集積している台湾・高雄市で開催された「2017 台湾国際金属科技展」に出展した。

- (ア) 開催期間 平成 29 年 11 月 16 日～18 日
- (イ) 出展会場 高雄展覽館 (高雄市前鎮区成功二次)
- (ウ) 来場者数 4,985 名
- (エ) 出展企業数 5 社
- (オ) 現地企業との交流会

企業名	製造品目	地域
SPECTROMATRIX 社	総合商社	高雄市
統旺科技工業有限公司	回転機用小型シャフト	
金山鑄造工業有限公司	一般産業用鑄物	
峰旻工業有限公司	工作機用部品メーカー	

### (カ) 事業の成果及び効果

名刺交換 70 枚、見積依頼 5 件、商談 7 件、パートナー会社との詳細打合せ 2 件。



出展ブースでの対応



商談風景

## (5) 地域間交流支援(RIT)事業【総合戦略】

ジェトロの支援を受け、日立地区の中小企業を中心とした企業グループとドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク(BW)州の企業群(クラスター)との間でビジネス交流を進め、新規受注獲得に取り組んだ。

ア 事業期間 平成29年4月～平成30年3月

イ 実施体制

(ア) 交流クラスター automotive-bw

(イ) 参加企業数 21社(国内研究会を組織)

(ウ) 協力者 ジェトロ本部、ジェトロ茨城貿易情報センター、ジェトロデュッセルドルフ事務所

ウ 事業内容

(ア) 国内研究会 3回

(イ) ミッション派遣

a 派遣期間 平成29年5月28日～6月3日

b 参加企業 6社

c 内容

- ・金型関係展示会 Moulding Expo 展示会視察
- ・企業訪問による商談(6社)
- ・RKW-BW、automotive-bwとの産業交流に関する覚書署名式
- ・メルセデスベンツプレス工場見学

(ウ) 海外有力企業及び有識者招聘

<1回目>

a 招聘期間 平成29年9月6日

b 招聘者 有力企業：1社

c 内容

- ・招聘企業による製造業向け管理システムのワークショップ実施  
参加企業(6社)

<2回目>

a 招聘期間 平成30年1月15日～18日

b 招聘者 有力企業：2社、有識者：2名

c 内容

- ・企業訪問(6社)による商談
- ・日立市役所表敬訪問
- ・茨城大学工学部訪問

エ 事業の成果及び効果

(ア) ミッション派遣及び有力企業招聘を通じて、多くの商談及び成約につなげることができた。(商談件数：41件、成約見込件数：7件)

(イ) 日立地区産業支援センターと交流先であるRKW-BW及びautomotive-bwとの間で、

産業交流に関する覚書を締結した。



ミッション派遣



産業交流に関する覚書署名式



有力企業による企業訪問

## (6) 海外展開を進める企業の経営安定化事業

ドイツ地域で受注活動する企業に対し、現地企業との商談の事前調整及び通訳を含めた同行支援を行うことで、受注獲得成果を高める支援を行った。

ア 実施期間 平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月

イ 利用社数 2 社

ウ 実施内容

ドイツに事務所を有し、ものづくりに精通する事業者に、商談コーディネート業務を委託し、利用企業 1 社当たり 2 日までの商談をサポートした。

項目	利用社数	利用日数
企業訪問への同行支援	1 社	2 日
展示会出展等での商談支援	1 社	2 日

エ 事業の成果及び効果

事業を通じて 4 件の商談支援を行い、2 件が継続中である。

## (7) ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業

全国中小企業団体中央会の補助を受け、地域中小企業に必要となる総合的経営力を外部専門人材の活用等により強化するとともに、つくば地域の企業群と日立地区の企業群との連携を行い、企業連携及び共同受注体制の構築を図った。本事業では、つくばの科学技術を活用した GNT(グローバルニッチトップ)輩出を目指すオール茨城連携をテーマに、小型加速器及び機構部品の試作開発並びにドイツ企業の招聘及び商談等を実施した。

ア 実施期間 平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月

イ 参加企業数 中小企業 10 社、大学共同利用機関 1 法人

ウ 実施内容

- (ア) 運営推進会議 2 回
- (イ) 小型加速器による実習プログラム 4 回
- (ウ) 加速器ユニットの試作・設計力強化
- (エ) 海外との連携・市場調査
- (オ) グループ別プロジェクト会議 8 回

エ 事業の成果及び効果

- (ア) 加速器の主要構成部品の一つである電子銃について、設計実習の実施により、電子銃チャンバー及び電子銃向け電源の設計まで完了することができた。また、加速器の主要構成要素である出口カップラーを製作し、前年度に製作した加速管及び入口カップラーと組み合わせ、加速管一式を完成することができた。今後は、加速管の性能試験を実施するとともに、多様な加速管設計を行うこととした。
- (イ) 前年度訪問したドイツ企業を茨城県に招聘し、参加企業への訪問、商談を実施したことにより、加速器関連製品の据付・調整、メンテナンスの受注が確実となったとともに、その他の受注に向け複数の交渉を続けることとなった。また、国内の大学・研究機関向け加速器市場について、東京大学上坂研究室等と協議を行い、今後の事業化等の展開についても、同研究室等の協力を期待できる見込みとなった。

4 新製品新技術開発に関する事業

(1) 産学官連携研究開発補助事業【総合戦略】

中小企業が取り組む製品開発及び技術開発に資する技術ニーズを公募し、地域中小企業への波及効果が高いものについて、中小企業だけでは開発困難な研究内容を茨城大学及び茨城県工業技術センターに基礎研究及び応用研究を委託した。

ア 実施内容並びに事業の成果及び効果

テーマ名		依頼企業-委託先
1 ネットワークセンシングによる 生ごみ処理機の遠隔監視システムの開発		スターエンジニアリング(株) -茨城大学工学部 湊 淳 教授
内容	各納入先に設置した業務用生ごみ処理機について、IoT 技術を活用し、社内にながら装置の状況を監視し、装置の故障を未然に防ぐような遠隔監視システムを開発する。	
成果	生ごみ処理機の環境状態を遠隔から常時観測できる安価で低消費電力の IoT システムを開発できた。今後、機械故障に関する環境変化を掴み、具体的な項目の選定、実際の装置適用などを進める。	
2 析出硬化系ステンレス鋼の冷間鍛造		(株)大貫工業所 -茨城大学工学部 永野 隆敏 講師
内容	切削加工に比べて大幅に量産性に優れる冷間鍛造法のシミュレーションによる鍛造状態の再現と条件の模索をするとともに実際の部材を用いたサンプルの組織観察、分析により検証する。	
成果	シミュレーション解析により冷間鍛造工法の挙動が確認できた。更に具体的ななしぼり加工の解析が期待できる。	

3 光学フィルム用熱ロールインプリント技術開発		(株)MEPJ ー茨城大学工学部 久保田 俊夫 教授
内容	表面に微細加工を施したロールによる熱ロールインプリント技術を開発する。	
成果	熱ロールインプリントは技術的に高度であることが明らかになった。今後、光インプリント方式も検討していく。	
4 ファイバーレーザ溶接条件の最適化		太洋工業(株) ー茨城県工業 技術センター 行武 栄太郎 主任研究員
内容	生産性の高いファイバーレーザ溶接機に関し、顧客への提案、説明が不足しており、溶接条件の最適化を求めるとともに資料の充実を図る。	
成果	現行生産条件が良い条件であることが確認できた。更に生産性を上げる条件を検討中。	

## (2) 競争的資金獲得支援事業【総合戦略】

個別のテーマに応じた補助金等申請書のブラッシュアップ及び補助金に係る情報提供など、地域中小企業が国等の競争的資金を獲得するための支援を実施した。

### ア 補助金申請個別相談

名称	相談件数	採択件数
地域中核企業創出・支援事業	1 件	1 件
ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	13 件	-件

※ ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金の採択は、平成 30 年 6 月公表予定

### イ 事業の成果及び効果

地域中核企業創出・支援事業について、1 件の相談に対して申請書作成の支援を行い、採択となった。また、ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金について、13 件の相談に対して申請書作成の支援を行った。

## (3) 他社特許活用による新製品開発支援事業【総合戦略】

大手企業が保有する開放特許を活用することによって、地域中小企業の新製品開発や新規事業への進出の支援を実施した。

### ア 企業訪問等による特許利用相談 延べ 13 社

### イ 特許活用による新製品・新技術開発等支援事業助成金

日立市の工業を中心とした産業集積の健全な育成とともに、地域産業の活性化を図ることを目的に、中小企業者が行う、大企業の特許等を活用した新製品・新技術の開発等に要する経費に対して交付する助成金の公募を行った。しかし、今年度は申請がなかった。

### ウ 知財活用アイデア茨城県大会



開放特許を活用した大学生の商品アイデア創出と地域中小企業への展開を支援した。

(ア) 開催日 平成 29 年 11 月 17 日

(イ) 会場 つくば国際会議場

(ウ) 出場校

a 茨城キリスト教大学：2 チーム

b 常磐大学：3 チーム

c 流通経済大学：1 チーム

エ 事業の成果及び効果

大手企業が保有する特許を地域の中小企業に紹介することにより、新たな製品分野への展開につながる知見を提供した。

大手企業が地域中小企業を訪問し、互いの事業ニーズに関する情報を交換することで、地域企業の側から大手企業に対し、事業提案を行う場を提供することが出来た。

#### (4) 6 次産業化・農商工連携の推進事業【総合戦略】

農水産業(第 1 次)、製造業(第 2 次)及び商業(第 3 次)の事業者等が連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して、新製品、新商品の生産から販路開拓までを行う取組を支援した。

ア 6 次産業化、農商工連携推進コーディネーターの配置

(有)NEW ビジネス研究所 所長 天野 良英 氏

イ 6 次産業化推進コーディネーターによるヒアリング及び個別相談

(ア) 訪問件数 延べ 45 件 (日数 20 日)

ウ 事業の実績

(ア) 先進事例見学会の開催

a 開催日 平成 29 年 11 月 20 日

b 訪問先 道の駅うつのみや ろまんちっく村、鹿沼商工会議所、  
(株)石川そば製粉所

c 参加者数 17 名

(イ) 農業者等と中小企業のシーズ・ニーズ調査とマッチング

No	区分	農業者等 (ニーズ)	中小企業 (シーズ)	内容	マッチング結果
1	N	茨城県県央農林事務所	(株)東日本技術研究所	水田用蛇口自動開閉装置開発	業務多忙のため不成立
2	N	茨城県県央農林事務所	(株)関東技研	水田用蛇口自動開閉装置開発	低価格製品のため不成立
3	N	(株)テクモア	(有)光和精機製作所	栗拾い機開発	成立し、栗拾い機能評価中

4	N	神田町農家	(株)アールテック	コンバインのローター部(脱穀部)稲取り治具	成立、10月納入済 →使用待ち
5	N	十王町農家	(株)アールテック	きゅうりハウス向け農薬散布機	成立、4月納入済 →追加改造中
6	N	十王町農家	未定	レタス包装機開発	協議中、中小企業探索中
7	S	京丹波自然工房	スターエンジニアリング(株)	ICタグを活用したジビエ品質管理	協議中

※区分のNは提案元がニーズ、Sは提案元がシーズ

(ウ) その他事業

	実施主体	内容	活動結果
1	折笠ぶどう部会	ぶどうの販路開拓・ブランド化	① 茨城キリスト教大学の地域貢献サークル(HEMHEM)と連携し、ロゴマークを考案。市補助金を活用してロゴ入りシールを作成。また、SNS活用や鶉喜鶉喜での販促活動により認知度向上を図った。 ② 9月には、小松水産(株)を通じ、ぶどう11房をタイへ輸出。
2	久慈浜水産加工業協同組合	地理的表示(GI)保護制度	① 3月、久慈浜水産加工業協同組合の組合員へ地理的表示(GI)について説明、平成30年度にGI登録に向けて動くこととなった。
3	(株)檜村ふあーむ	長ネギの保存実験・輸出	① 10月、ジェトロ茨城商談会にて米国バイヤーと商談を実施。 ② 3月に園芸研究所において、米国へのネギ輸出に向けた保存実験を実施した。 ⇒ 結果は平成30年4月にバイヤーへ連絡。
4	多賀電気(株)	超音波獣害防除装置実証実験	① 11月、超音波技術を応用した鳥獣害防除装置の実証実験フィールドについて相談を受けた。 ② 12月及び1月にきららの里での打合せを2回実施し、設置方法及び試験方法について検討を開始した。

5	JA 日立市多賀	漬物加工場の品質・衛生管理研修会の開催	① 開催日 平成 29 年 6 月 27 日 ② 会場 JA 日立市多賀 ③ テーマ「食品製造における HACCP 入門」 ④ 講師 福島工業(株) 渋谷 善隆 氏 ⑤ 参加者数 29 名
---	----------	---------------------	--

エ 事業の成果及び効果

- (ア) 日立市内の農業者、中小企業へのニーズ、シーズ調査を行い、8 件の農業者と中小企業とのマッチング(農工連携)が実施できた。
- (イ) 先進事例見学会により、関係機関等(JA、日立商工会議所、市内農業者、近隣中小企業者)と 6 次産業化・農商工連携のポイントについて共通理解するとともに、今後連携していくためのきっかけを得ることができた。
- (ウ) 市内農産物のブランド化や販路拡大等の支援を行うことにより、農業者が他の機関と連携する機運を醸成することができた。



先進事例見学会風景①



先進事例見学会風景②



先進事例見学会風景③

## 5 経営者の啓蒙に関する事業

### (1) 成長産業分野参入のためのミッション団派遣事業【総合戦略】

日立市と国際親善姉妹都市である米国アラバマ州バーミングハム市との産業交流を目的としたミッション団派遣を実施した。

ア 実施期間 平成 30 年 1 月 15 日(月)～1 月 20 日(土)

イ 訪問先 アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ市、アラバマ州バーミングハム市

ウ 参加者数 11 名

エ 訪問先及び内容等

訪問先	内容等
ジェトロアトランタ事務所	セミナー(米国南東部の経済、産業動向について)
Birmingham Business Alliance	参加企業の技術紹介
UAB 環境エンジニアリング学部	参加企業の技術紹介
地元企業(Kamtek 社、Precision Grinding 社)	金型加工会社、研削加工会社の視察



ジェトロアトランタ事務所にて



ウッドフィン新市長と面談



バーミングハム・ビジネス・アライアンスにて



アラバマ大学にて

## (2) 展示会出展セミナー

国内外の展示会出展を考えている企業を対象として、専門家による出展準備と展示会場での活動ポイントや注意点等に関するセミナーを開催した。

ア 開催日 平成 29 年 4 月 6 日

イ 演題 出展を成功させる!!

ウ 講師 ワンプロモーション(株) 代表取締役 榎間 一 緒 氏

エ 受講者数 18 名

オ 事業の成果及び効果

出展を成功させ、ビジネスチャンスを生み出すための具体的なノウハウを地域企業に提供することができた。



展示会出展セミナー

## 6 創業支援事業

### (1) 日立創業支援ネットワーク事業【総合戦略】

新規創業の促進及びその後の事業安定化を図るため、創業支援事業計画に基づき日立市、日立商工会議所及び日本政策金融公庫日立支店と連携して、以下の取組を行った。

ア インキュベーション施設を通じた創業支援

(ア) マイクロ・クリエイション・オフィス(MCO)の利用者数 8事業者

イ 個別相談会

入居者に加えて地域の創業希望者及び創業間もない者を対象として、専門家による個別相談会を実施した。

(ア) 期間 平成29年4月～平成30年3月

(イ) 回数 12回

(ウ) 相談者数 13人

(エ) 相談件数 延べ37件

(オ) 専門家 (有)つくばインキュベーションラボ 取締役 上原 健一氏

ウ 連携機関との協力

(ア) 連絡会議 12回

(イ) 関係機関主催イベントの共催及び協力 2回

エ 事業の成果及び効果

(ア) 新規に2事業者がMCOに入居した。

(イ) 関係機関と連携してイベントの企画運営を行うことで、より効果的な内容とすることができた。

## 7 情報収集発信に関する事業

### (1) ホームページ・メルマガ運営事業

各種事業のPR、公募及びイベント告知のために、ホームページの掲載及びメルマガジンの送信により効率的な情報発信を実施した。

ア 実施内容

(ア) ホームページ情報掲載数(センターからのお知らせ) 84回(随時更新)

(イ) メールマガジン発行回数 24回(月2回発行)

イ 事業の成果及び効果

(ア) ホームページアクセス件数(トップページ) 45,457件(H29/4～H29/12)

※ H30/1～3はホスティング先の変更により未集計

(イ) メールマガジン登録者数 513名

### (2) 支援施策調査研究事業

県北臨海地域の産業発展に寄与する地域支援施策の情報を取得するため、ひたちものづくり協議会及び日立商工会議所工業部会とともに調査を実施した。

## ア 実施内容

- (ア) 調査先 山形大学国際事業化研究センター、玉澤精機(株)(山形県米沢市)、(株)ナカノアパレル(山形県南陽市)、三木ベルテック(株)(山形県米沢市)
- (イ) 調査日程 平成29年9月11日～12日
- (ウ) 参加者 8名
- (エ) 調査内容

大学による地域中小企業へのものづくりシニアインストラクターの派遣を通じた経営・現場改善指導事業の調査

## イ 事業の成果及び効果

経営革新・生産革新を指導可能な専門家(シニアインストラクター)の養成から、企業の現場への派遣事例までの説明を受け、地域の関係機関連携による取組の重要性について、各機関で情報共有することができた。

### (3) 訪問アドバイザー事業

日立市内の企業を中心に中小企業実務アドバイザーが計画的に企業訪問を実施し、企業の当センターに対する意見及び要望を聴取し、必要に応じて財団のコーディネーターが再訪問するなどの対応を実施した。

- ア 訪問期間 平成29年6月～10月
- イ 訪問計画企業 65社
- ウ 訪問アドバイザー 8名(2名/組 × 4組)
- エ 事業の成果及び効果

- (ア) 訪問計画企業65社中63社(97%)を訪問し、26社がメールマガジン購読の新規登録を行い、定期的に発信する様々な情報の提供が可能となった。

## 8 地域交流に関する事業

### (1) 地域交流講演会開催事業

タイムリーなテーマの講演会を開催し、中小企業関係者や一般市民が、「新たな交流とビジネスのヒント」を発見する機会とすること及び財団の事業等を周知・広報することを目的とした「スーパーヒットクラブ」を開催した。

#### ア 開催日、演題、講師等

開催日	演 題	講 師	参加者数
平成29年 9月27日	日立アプライアンス(株)多賀事業所見学会		20名
	日立アプライアンス(株)多賀事業所の沿革について	総務課 黒羽 祐路 氏	
	クリーナー、洗濯機製造ラインにおけるIoTの活用について	製造担当部長 上野 和昭 氏	

平成 30 年 1 月 24 日	強靱で、躍進する会社作りの秘訣	経営支援NPOクラブ 村上 伸一 氏	32 名
	無人化、ロボット化が作る社会	(株)ティー・エム・ピー 代表取締役 高橋 一雄 氏	

#### イ 事業の成果及び効果

- (ア) 地域を代表する企業の IoT 活用により作業時間の 3 割削減を実現した製造現場を見学し、地域企業における先進的な取組みに触れる機会を設定し、生産性向上における IoT の重要性について情報提供することができた。
- (イ) 経営の問題点、解決の手法、活気ある職場づくりなど良い会社づくりのためのヒントを提供することができた。また、自動組立、選別、検査装置の開発等の事例発表を通じ、ロボット化の流れについての情報提供ができた。
- (ウ) センター施設や支援事業について周知が図られた。

## II. 公共施設の管理

日立地区産業支援センターの管理を実施した。

### 1 利用状況

- (1) 利用件数：1,255 件
- (2) 利用者数：17,199 名
- (3) 使用料収入：4,212,010 円
- (4) 目的別利用状況

区分 使用目的	件数 (件)	比率 (%)	人数 (名)	比率 (%)
見学	25	2.0	98	0.6
会議	571	45.5	15,958	92.8
機器利用	149	11.9	365	2.1
相談	30	2.4	41	0.2
情報交換・打合せ	270	21.5	398	2.3
その他	210	16.7	339	2.0
合計	1,255	100.0	17,199	100.0

### 2 修繕等の状況

トイレ、自動ドア、機器の修繕を実施した。

### Ⅲ. 組織

#### 1 役員等

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職 名	現 員 数	備 考
評議員	7	
理事	7	理 事 長 1 名 副理事長 1 名 常務理事 1 名
監事	2	

#### 2 職員

平成 30 年 3 月 31 日現在

常勤職員	非常勤職員	委嘱職員	日立市 派遣職員	合 計
8	9	1	3	21

### Ⅳ. 理事会・評議員会

会 議 名	開催日又は 決議があつ たものとみ なされた日	案 件
平成 29 年第 2 回 通常理事会	平成 29 年 5 月 24 日	議案第 4 号 平成 28 年度公益財団法人日立地区産業支援 センター事業報告及び決算について 議案第 5 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人 日立地区産業支援センター補正予算(第 1 号)) 議案第 6 号 平成 29 年定時評議員会の開催について 報告第 2 号 業務執行理事の職務執行状況について
平成 29 年第 2 回 臨時理事会	6 月 27 日	議案第 7 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの 理事長の選定について 議案第 8 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの 副理事長の選定について 議案第 9 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの 常務理事の選定について 議案第 10 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人 日立地区産業支援センター補正予算(第 2 号))



<p>平成 29 年 定時評議員会</p>	<p>6 月 27 日</p>	<p>議案第 2 号 平成 28 年度公益財団法人日立地区産業支援センター決算について          議案第 3 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの評議員の選任について          議案第 4 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの理事の選任について          議案第 5 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの監事の選任について          報告第 1 号 平成 28 年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業報告について          報告第 2 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第 1 号))</p>
<p>平成 29 年第 3 回 臨時理事会</p>	<p>8 月 14 日</p>	<p>議案第 11 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第 3 号))          議案第 12 号 平成 29 年第 2 回臨時評議員会の開催について</p>
<p>平成 29 年第 2 回 臨時評議員会</p>	<p>8 月 31 日</p>	<p>議案第 6 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの評議員の選任について          議案第 7 号 公益財団法人日立地区産業支援センターの監事の選任について          報告第 3 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第 2 号))          報告第 4 号 専決処分について(平成 29 年度公益財団法人日立地区産業支援センター補正予算(第 3 号))</p>
<p>平成 30 年第 1 回 通常理事会</p>	<p>平成 30 年 2 月 15 日</p>	<p>議案第 1 号 平成 30 年度公益財団法人日立地区産業支援センター事業計画及び収支予算について          議案第 2 号 公益財団法人日立地区産業支援センター事務局の組織等に関する規程の一部を改正する規程の制定について          議案第 3 号 公益財団法人日立地区産業支援センター職員就業規程の一部を改正する規程の制定について          議案第 4 号 公益財団法人日立地区産業支援センター任</p>

		<p>期付職員就業規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議案第 5 号 公益財団法人日立地区産業支援センター任期付職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議案第 6 号 公益財団法人日立地区産業支援センター非常勤職員就業規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>報告第 1 号 業務執行理事の職務執行状況について</p>
平成 30 年第 1 回 臨時理事会	3 月 28 日	<p>議案第 7 号 平成 30 年第 1 回臨時評議員会の開催について</p> <p>議案第 8 号 事務局長の選任について</p>
平成 30 年第 1 回 臨時評議員会	3 月 31 日	<p>議案第 1 号 評議員の選任について</p> <p>議案第 2 号 評議員の選任について</p> <p>議案第 3 号 理事の選任について</p> <p>議案第 4 号 理事の選任について</p>